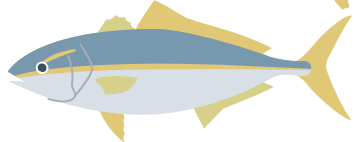




霧島錦江湾国立公園 ストーリーブック

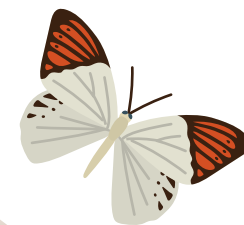
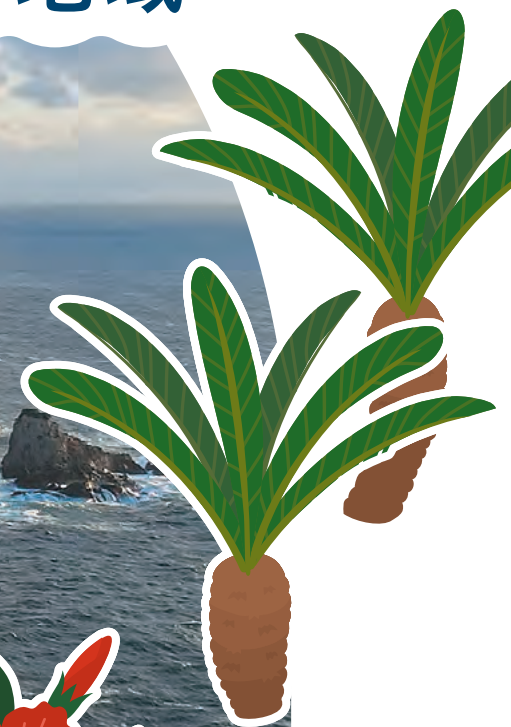
佐多地域

～国立公園の魅力を高めるために
関係する地域の皆様と共有したいストーリー～



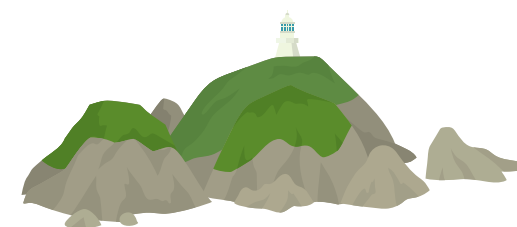
環境省九州地方環境事務所 霧島錦江湾国立公園管理事務所

2025年8月



	目次		P01
	この冊子の使い方		P02
1	地域関係者のみなさまとの 国立公園ストーリー共有について		P03
2	霧島錦江湾国立公園概要		P10
	霧島錦江湾国立公園地図		P13
3	佐多地域全体つながり図		P15
	佐多地域ストーリー ①～③		P16
	来訪者に望まれる体験		
	ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験		
4	日本の国立公園（制度、外国の国立公園との違い）		P32
	日本の国立公園地図		P35

5	国立公園のブランドプロミス、 国立公園のストーリーの意義と保全・ 利用への活用について		P36
	国立公園のブランドプロミス		P37
	国立公園のブランドプロミスと ブランディング活動の関係		P38



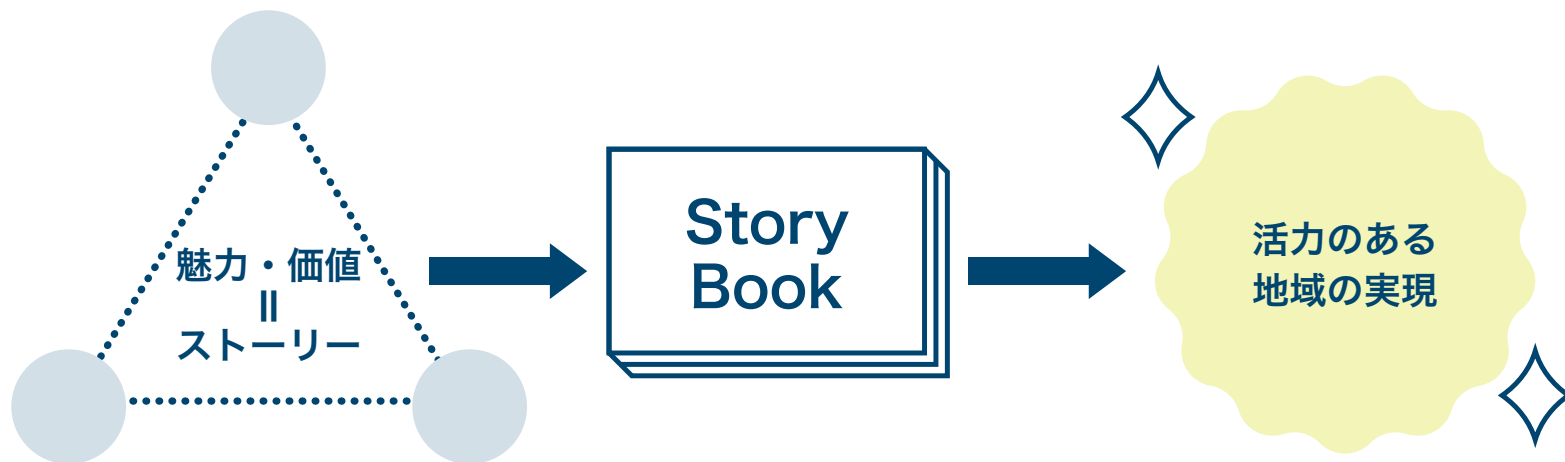
この冊子の使い方

全国に 35 か所（2025 年 3 月現在）ある国立公園は、我が国の景観を代表すると共に、世界的にも誇りうる傑出した自然の風景の保護と利用を目的として指定されています。世界でも「国立公園」は多くの人に愛され利用される存在となっており、訪日外国人にとっても魅力的な訪問地として期待されています。

「霧島錦江湾国立公園」は、我が国最初の国立公園の一つであり、自然景観の美しさに加えて、その地域の成り立ち、そこに住む動植物や自然が育んだ土地の文化や歴史などの「ストーリー」が豊かな魅力を引き出しています。

国立公園に点在する景勝地や歴史・文化が「ストーリー」として結びつくことにより、国立公園のブランド価値が高まります。そしてそのストーリーを地域の人々が共有し、伝えることにより、来訪者はその価値を実感することができ、地域への愛着も高まると考えられます。

国立公園の保全と利用には、地域の様々な立場の方が関わっています。このストーリーをみなさまと共有し、それぞれの立場から発信していただくためにこの 1 冊をまとめました。この冊子があなたにとって「霧島錦江湾国立公園」をより深く知るヒントとなり、地域の魅力や価値を伝える手助けになれば幸いです。

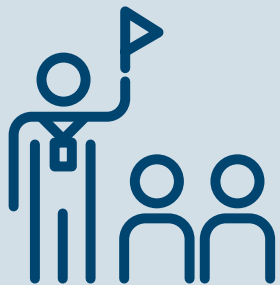


地域関係者のみなさまとの 国立公園ストーリー共有について

前述のように国立公園の保全と利用には、地域の様々な立場の方が関わっています。それぞれの立場の方が国立公園のストーリーを活用して発信していただくことにより霧島錦江湾国立公園の魅力や価値が、国内外から認識されるとともに活力ある地域の実現につながっていくことが期待されます。

ここでは、その発信方法についての例を示しています。参考にいただき、地域全体で国立公園のストーリーを発信していきましょう。

ガイド・インタープリターのみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園のストーリーに沿った、この地域ならではの体験を提供する際に活用していただきたいと思います。
また地域資源の保全のために、その価値を伝えていただけたらと願っています。

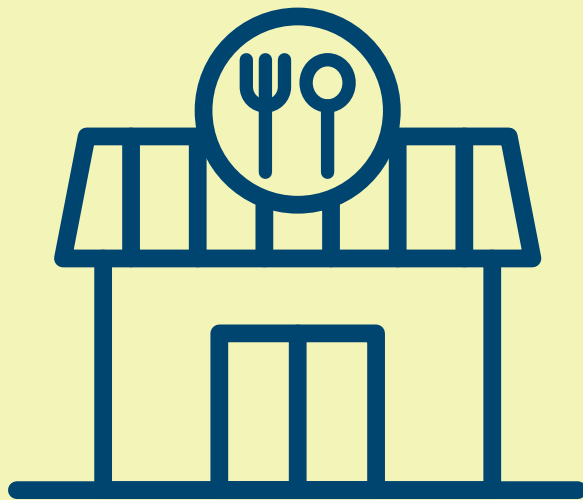
活用例

- ・ガイドで話す内容、展示、パンフレット、ホームページなどに「ストーリー」を盛り込む
- ・ツアーを組み立てる際に「来訪者に望まれる体験」を参考にする

期待される効果

来訪者が地域のストーリーにふれると、ツアーやアクティビティでの体験がこの場所でしか味わえない特別なものになります。その結果、地域の魅力や価値に気づき、参加者が地域のファンやリピーターになることが期待されます。

飲食店のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園が育んだ独自の食を提供する際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・商品やメニューを考案する際に「ストーリー」を参考にする
- ・従業員の方が食材を説明する際や、店内で食材の紹介をする際に「ストーリー」を参考にする

期待される効果

地域で育まれた食材や料理をストーリーとともに提供することで、その土地ならではのものを食べたいという来訪者のニーズに応えることにつながり、地域が培ってきた食文化を体験することで来訪者の満足度の向上が期待されます。

宿泊事業者のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園の魅力やストーリーを伝える際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・提供する食事のメニューやパンフレット、施設内の装飾に「ストーリー」を活用する
- ・フロント等で観光コースを案内する際に「ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験」を参考にする

期待される効果

地域が培ってきた食文化を体験することが来訪者の満足度の向上につながるだけでなく、地域のストーリーに触れることのできる宿に泊まることで、来訪者の旅行の質が高まることが期待されます。

土産物店のみなさま



訪れた方が霧島錦江湾国立公園のストーリーを持ち帰ることができる商品の参考にしていただきたいと思います。

活用例

- ・商品の開発やパッケージをデザインする際に「ストーリー」を参考にする
- ・お客さんとの会話の参考にする

期待される効果

ストーリーと結びつけられた土産物、特産品を購入することで、来訪者が地域での体験を思い出すきっかけとなり、取り寄せや通信販売などを通しての継続購入につながることが期待されるほか、お土産を送られた知人、友人が新たな来訪者になることも期待されます。

交通事業者のみなさま



訪れた方に霧島錦江湾国立公園の魅力やストーリーを伝える際に活用いただきたいと思います。

活用例

- ・機内、車内、船内でのアナウンスの内容に「ストーリー」を活用する
- ・パンフレット等を作成する際に「ストーリー」の参考にする

期待される効果

来訪者が移動中にストーリーにふれることで、これから訪れる地域への期待度を上げ、帰路につく来訪者が地域での体験をふりかえり、思い出す機会を提供することが期待されます。

学校関係者のみなさま



地域の児童、生徒のみなさんが霧島錦江湾国立公園の魅力や価値を再発見するために活用いただきたいと思います。

活用例

- ・総合的な学習や探究学習の時間に「ストーリー」を教材にする
- ・野外学習の訪問先を決める際に「ストーリーを実感できる、おすすめの場所・体験」を参考にする

期待される効果

地域の将来を担う児童、生徒のみなさんが地域のストーリーを知ること、より一層地域に愛着や誇りを持つことが期待されます。

行政職員・観光協会のみなさま



霧島錦江湾国立公園を様々な形で地域内外に発信する際に活用
いただきたいと考えています。

活用例

- ・地域の価値や魅力を紹介する際に「ストーリー」を活用する
- ・資源の保全の方針を作成する際に「ストーリー」を参考にする

期待される効果

地域内外の方に魅力や価値を理解いただけるだけでなく、各資源
の保全と活用に関する指針となることが期待されます。

KIRISHIMA-KINKOWAN NATIONAL PARK

霧島錦江湾国立公園

国立公園とは？

我が国を代表する優れた自然の風景地を保護するとともに、その利用の増進を図ることにより、国民の保健、休養及び教化に資するとともに、生物の多様性の確保に寄与することを目的とする。

霧島錦江湾国立公園は、霧島、桜島錦江湾奥、指宿、佐多の各地域に区分される。

霧島地域は、大小 20 以上の火山が連なる山岳地。火山活動に伴って誕生した火口湖、噴気現象、高原、温泉など、変化に富んだ景観が展開し、「火山地形の見本園」とも称される。霧島山は天孫降臨神話の舞台ともされる神秘的な山々でもある。山麓には霧島温泉郷などの温泉地が点在し、同時に良質な水を生み出す。桜島錦江湾奥地域は、現在も噴煙を上げる桜島を中心に、海と火山が織りなす独特の景観を見せ、人々の生活圏は火山と非常に近接している。南に下り、指宿地域に位置する開聞岳は「薩摩富士」とも称される地域のランドマーク。また大隅半島側の本土最南端・佐多岬を含む佐多地域は亜熱帯性植物が多く生育し、南国情緒満点である。

今も噴火活動を繰り返す火山は、「災い」をもたらすだけでなく、多彩な温泉や食文化を育み、人々の暮らしに幾多の恵みをもたらしている。

活きた火山に近接する
大地と海と人のセッション

霧島錦江湾国立公園

指定：昭和 9 年 3 月 16 日

面積：36,624ha（陸域）、37,855ha（海域）

鹿児島県・宮崎県の両県にまたがる

霧島錦江湾国立公園には、現在も噴火を続ける火山や、過去の大規模な噴火によって形成された、巨大なカルデラ群が見られる。これらは九州の東側の海底に沈み込むプレートの活動に起因して形成されたもので、加久藤カルデラ、小林カルデラ、始良カルデラ、阿多カルデラなどが、列をなして南九州地方を南北に並んでいる。

例えば、桜島錦江湾奥地域には始良カルデラの南部に桜島があり、さらにその南側に阿多カルデラが存在している。始良カルデラは現在は内湾となっているが、巨大な火山が噴火して落ち込んだ巨大なカルデラで、我が国屈指の海上カルデラ景観を有する。また、桜島はかつて、名称が示すとおり「島」であった。しかし、大正3（1914）年に起きた大規模な噴火の際、流出した溶岩によって大隅半島と陸続きになった。幕末・明治の時代を生きた西郷隆盛は、現代の私たちが見るのとは異なる、桜島の風景を眺めていたことになる。

大地の姿を幾度となく変化させてきた霧島錦江湾国立公園の火山群。悠久の大地の時間に想いを馳せながら、ダイナミックな地球の活動を目で見て肌で体感できるのも、この地の魅力だ。

桜島と錦江湾



新燃岳噴火



佐多岬



噴煙を上げながら錦江湾にそそり立つ鹿児島県のシンボル、桜島。人口約 60 万人の県都（鹿児島市）の中心街からわずか 4km という目と鼻の先に、噴火を繰り返す活火山が存在し、その桜島には今なお 3,500 人の人々が暮らす。日々、降灰予報などを気にしながら暮らす環境は、世界的に見ても非常に珍しい。

ここでは、多くの住民が火山からの恵みを楽しみながら、農業や漁業、観光産業などで生計を立てている。降灰は農産物の大敵だが、時には特産品も誕生させる。火山灰土壌を好む「桜島大根」はその代表格だ。また、温暖で湿潤な気候は、発酵食品の生産にも適しており、錦江湾に面した霧島市福山（※国立公園外）には、黒酢を発酵・熟成させる壺がズラリと並ぶ「壺畑」の風景が広がる。また、山々に濾過された水が南九州の焼酎文化を支え、良質な茶葉を生み出している。

火山の恵みの最たるものと言えば、各地で湧出する温泉だ。多彩な泉質のいで湯が湧く霧島温泉郷、地熱を利用した「砂むし風呂」を体験できる指宿温泉のほか、幕末の英傑・西郷隆盛や坂本龍馬が入浴を楽しんだ温泉もある。また、個室の温泉施設を少人数で楽しむ「家族風呂」という温泉文化も霧島が発祥地だ。さらに大地からわき出る蒸気熱を利用した「天然蒸気かまど（スメ）」が各家庭に 1 個ずつ備わっている集落もある。

火山と近接した暮らしは、霧島錦江湾国立公園独特の食文化や温泉文化を形成する、大きな要因の 1 つになっている。



黒酢の壺畑



指宿天然砂むし温泉

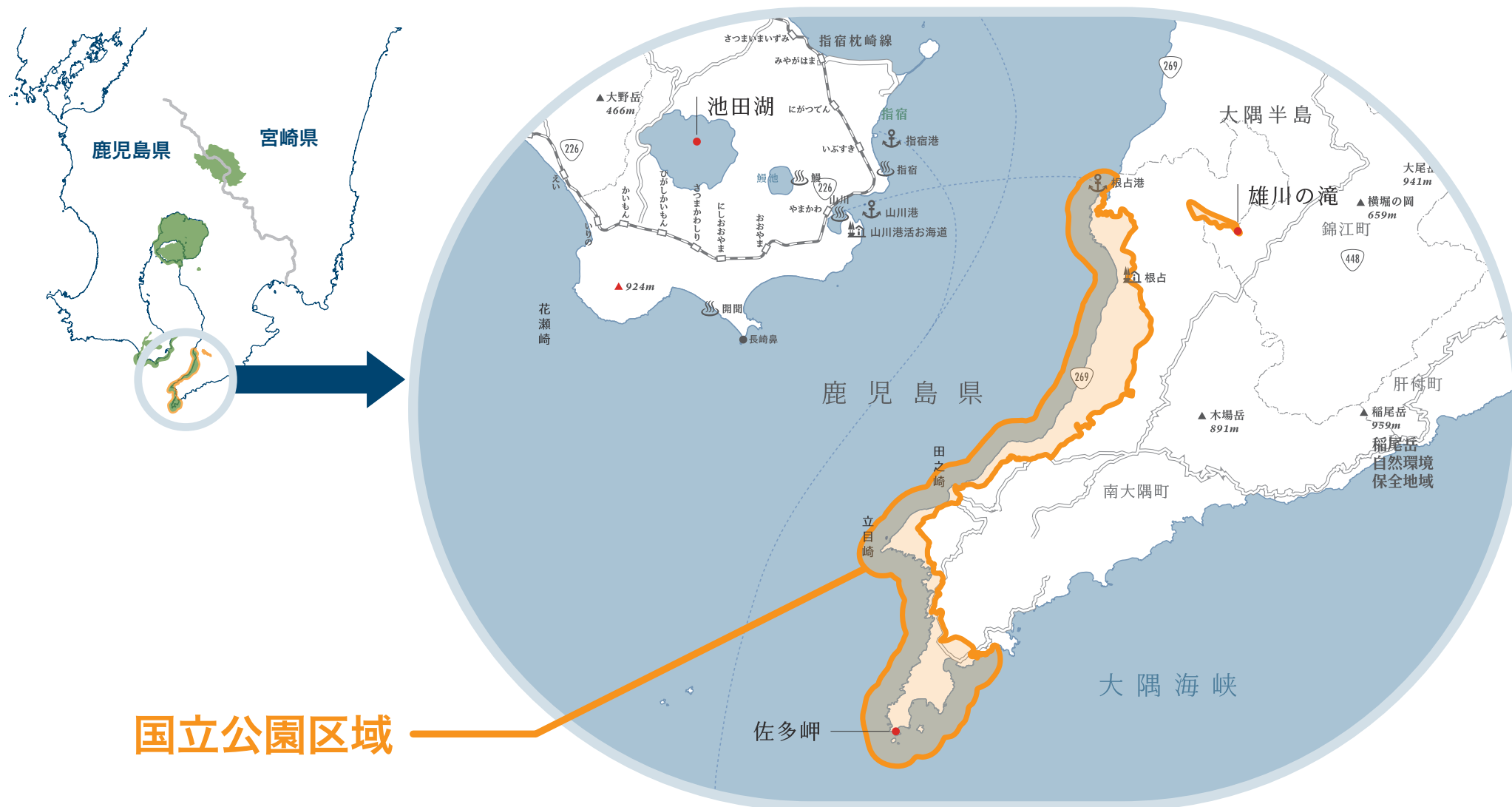
© K. P. V. B



城山展望台からの桜島

世界でも稀有な火山と
人の暮らしの「近さ」









© 中村保成

地域の重要性を表す独自の因果関係

暖かな気候と黒潮の恵みが、 南国の独自の食を育んだ

着目した地域の重要な資源

南国果実 パインアップル、辺塚だいたい、ライチ等

黒潮の恵み ウツボ、イセエビ等

左．ライチ（レイシ）
中．辺塚だいたい
右．キダカ
（ウツボの天日干し）



© 合同会社ダイムテック

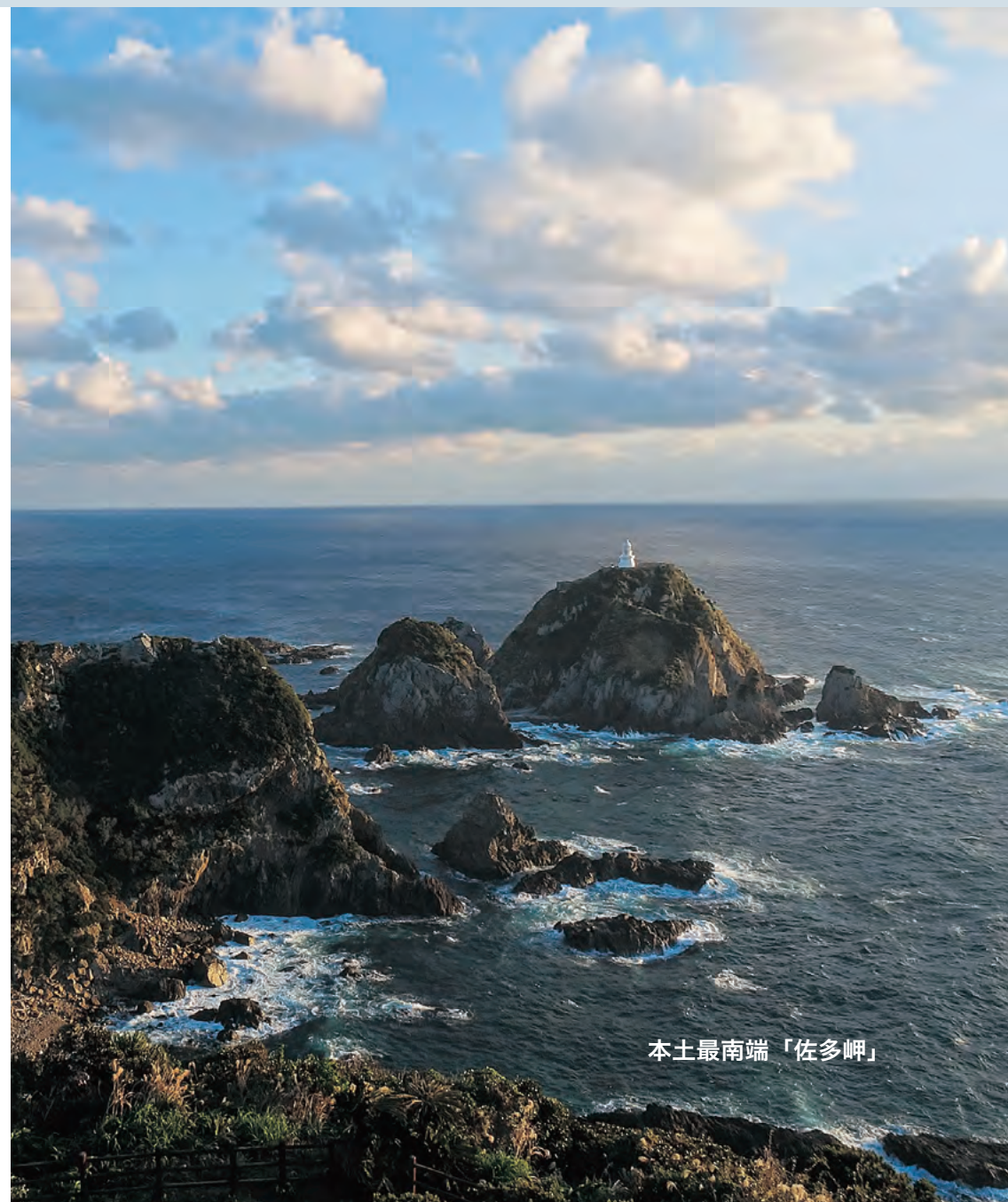


© 松栄丸（松元良治）

佐多地域は、一年を通して暖かな気候により、亜熱帯地域の植物や蝶などが見られ、外洋に開かれた海に面している。南国情緒たっぷりのこの地域では、江戸時代に日本最南端の薬草園（佐多旧薬園）が作られ、中国や東南アジア産の珍しい薬草や果物が植えられた。「レイシ」もその一つだが、この木の果実が、かの楊貴妃が大変好んだといわれる「ライチ」である。こうした南方系の果物や、古くから自生していた希少な柑橘類「辺塚だいたい」などが、今に至るまで一般の家庭でも栽培されてきた歴史がある。現在ではパインアップルをはじめ、パッションフルーツやアボカドなどの栽培も盛んだが、歴史的にも、佐多は江戸時代から続く「国産トロピカルフルーツの老舗」とも言えるのかもしれない。

海を見ると、本土最南端・佐多岬周辺の磯ではイセエビや瀬物と呼ばれる魚類や貝類、海藻などが獲れる。また、佐多岬の南の海域は黒潮の影響を受け、外海から多様な魚がやってくる。撒き餌で天然ブリの群れを集めて獲る伝統的な漁業も、黒潮の恩恵を大きく受け、冬でも比較的暖かい海水がカンパチの養殖に適している。12月から3月にかけてつくられる、地元でキダカと呼ばれるウツボの天日干しは、地域のお祝いごとではいつも食べられるほど地域と海の繋がりを色濃くしている。

佐多地域では、暖かな気候と黒潮の恵みを受けて、南国の独自の食を育んでいる。



本土最南端「佐多岬」

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 佐多旧薬園を訪れ、江戸時代に植えられた木々の子孫といわれている中国や東南アジア産のレイシ（ライチ）やリュウガンを見て、江戸時代から南国のフルーツが栽培されていた亜熱帯の気候を想像してほしい → ①
- 古くから自生している辺塚だいだいやパインアップル、パッションフルーツなど、温暖なこの地域で栽培されるフルーツを味わって、温暖な気候を実感してほしい → ②
- 海中を彩るサンゴや熱帯魚を見て、黒潮の影響を受けて多様性豊かな亜熱帯の海中風景を体感してほしい → ④
- 天然のブリをはじめ、外海からやってくる様々な魚を食べ、黒潮の恵みを体感してほしい → ③
- キダカ（ウツボの天日干し）を食べ、地域の人々の生活と海の繋がりを実感してほしい

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

佐多旧薬園を見学する



江戸時代に植えられた木々の子孫といわれている中国や東南アジア産のレイシ（ライチ）やリュウガンを見ることができ、当時の面影を感じることができます。

2

辺塚だいを味わう



© 合同会社タイムテック

地域の農畜産物直売所で購入できるほか、搾汁液や、果汁を使用したジュースや調味料を地域の土産物店などで購入することができます。

佐多地域 ストーリー ① を実感できる、おすすめの場所・体験

3

カンパチなど海の幸を食べる



© ねじめ漁業協同組合

周辺地域では、地域の素材にこだわった寿司屋や居酒屋、食堂で外海で獲れた魚介類を味わうことができます。

4

半潜水型水中展望船に乗って、
海中をのぞいてみる

© 中村保成

色鮮やかなサンゴや、海藻類の群落、その間を縫って遊泳する色とりどりの熱帯魚やウミガメなどを見ることができ、海の生きものの豊かさを感じることができます。



地域の重要性を表す独自の因果関係

本土最南端という地理的特徴が、
この地域の自然や歴史を培った

着目した地域の重要な資源

佐多岬

北限の生物、渡り鳥や蝶、海中や夜空の絶景、
異国との玄関口、最古の灯台

左．御崎神社
中．サシバの渡り
右．ハイビスカス



佐多岬は、錦江湾・太平洋・東シナ海という三つの海に面した本土最南端である。海から切り立った断崖絶壁を背景にハイビスカスやソテツが生い茂り、ツマベニチョウなどの南国の蝶が舞う。その海はサンゴや熱帯魚を育み海中を彩る。そして、海に囲まれた暗闇が無数の星を見せてくれる。本土ではなかなか見られないカノープスなどの星も見える。

これらは「最南端」だからこその絶景。佐多地域が自生地、つまりここより北では生きられない植物が多数見られる。海中が美しいのは、川が流れ込まず、黒潮の影響を受けて透明度や水温が高いため。そして佐多岬は渡り鳥や蝶にとって旅の中継地であり、渡りの季節になればその姿を見せてくれる。例えば、タカの仲間であるサシバは、毎年秋に日本各地から何千羽という数が佐多岬に集まり、群れとなって南の島へ向かう。

3つの海を臨む佐多岬は、もちろん人にとっても異国への玄関口だった。日本最古の灯台の一つである佐多岬灯台は、横浜と香港の航路を行き来する多くの船舶を見守り続けた。灯台守は佐多岬で過酷な暮らしをしながら船やゴンドラで灯台にわたり、航海の安全のために働いた。佐多岬は信仰の対象としても親しまれ、御崎神社では約1300年も前から、地域の人たちが海上安全や豊漁を祈っている。

自然と人、双方にとって外の世界への玄関口という地理的な特徴が、本土最南端ならではの景色を作り出した。



本土最南端「佐多岬」
から望む満天の星空

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

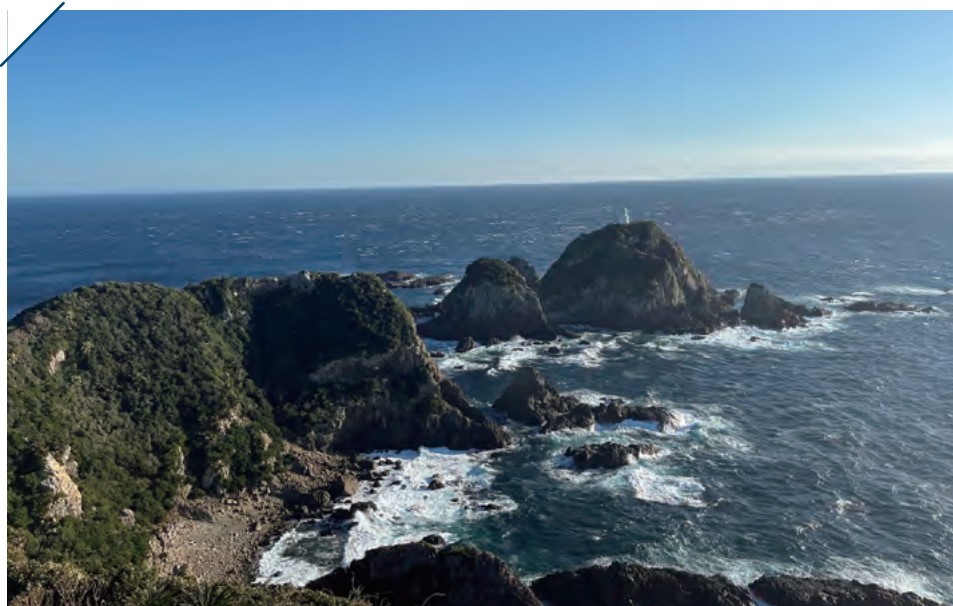
- ハイビスカスやソテツ、ツマベニチョウなど、本土最南端ならではの動植物との出会いを体験してほしい → ❶
- 外洋に面し、本土ではなかなか見られないカノープスなど、最南端ならではの星空を体感してほしい → ❷
- 佐多岬から旅立つサシバやアサギマダラを見て、季節により長距離のわたりをする動物の旅を想像してほしい → ❸ ❹
- 佐多岬の灯台を見ながら、本土最南端の過酷な環境の中で航海の安全のために働いた灯台守の暮らしを想像してほしい → ❻
- 1300 年続く海上安全や豊漁の祈りの場所である御崎神社を訪れて、古くからの地域の人々の生活と信仰を感じてほしい → ❺

佐多地域 ストーリー ② を実感できる、おすすめの場所・体験

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

佐多岬展望台から景色を眺める



ハイビスカスやソテツなど亜熱帯植物から南国の雰囲気を感じることができます。また、春から秋にかけては九州南部以南に生息するツマベニチョウに出会えるかもしれません。

2

星空を観察する



佐多岬のエントランス広場などで満点の星空を観察することができます。特に冬の間はカノープスを見ることもできます。

佐多地域 ストーリー ② を実感できる、おすすめの場所・体験

3

渡り蝶を観察する



佐多岬の遊歩道沿いでは、渡りをする蝶「アサギマダラ」が翅を休めたり、花を吸蜜する様子を見ることができます。

4

渡り鳥を観察する



© 南風図書館

視界が開けている佐多岬のエントランス広場や佐多岬展望台では秋の晴れた日に、南下する渡り鳥「サシバ」を観察することができるかもしれません。

佐多地域 ストーリー ② を実感できる、おすすめの場所・体験

5

御崎神社を訪れる



ソテツやガジュマルなどの植物が生い茂る中に鎮座する様子から、南国の雰囲気にあふれることができます。長年続く、地域の信仰も感じられます。

6

佐多岬灯台の歴史を知る

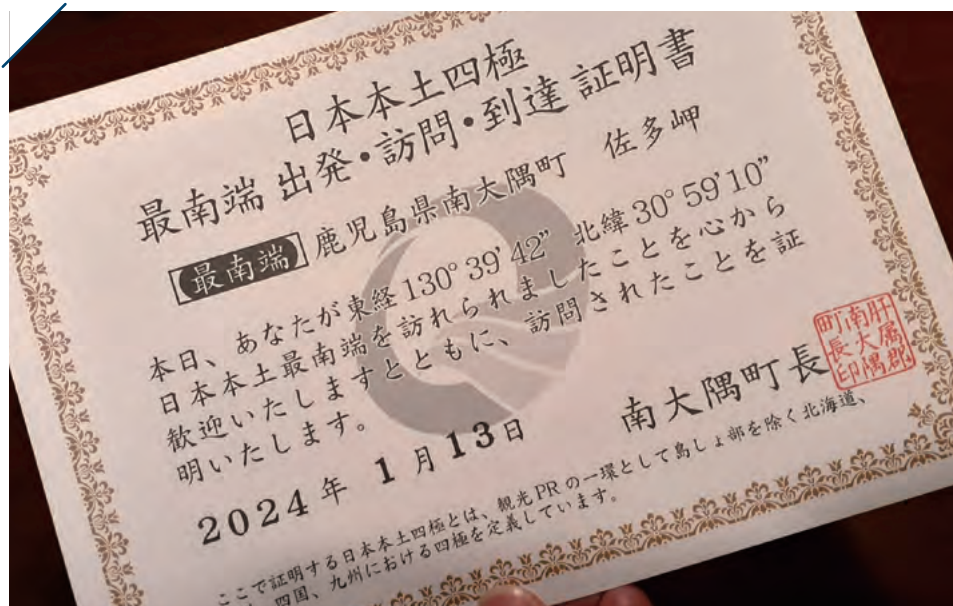


佐多岬観光案内所には灯台守のご家族が書かれた手記が展示されており、当時の過酷な暮らしを垣間見ることができます。灯台守の官舎跡地では、当時の官舎の一部やゴンドラの様子を紹介した野外展示を見ることもできます。

佐多地域 ストーリー ② を実感できる、おすすめの場所・体験

7

日本本土最南端証明書をもらう



本土最南端の佐多岬を訪れた証明として、佐多岬観光案内所では「日本本土最南端証明書」を無料でもらうことができます。



地域の重要性を表す独自の因果関係

悠久の時間が作り出した雄川の滝は、
地域が活用することでその美しさを
今に伝え続けている

着目した地域の重要な資源

雄川

雄川の滝

水力発電

左 . 雄川の滝
中 . 田んぼ
右 . 大楠



佐多地域 ストーリー ③

大隅半島を東西に横断する雄川は、流域周辺の田んぼを潤し、地域の農業を支えてきた。また、流域には鹿児島県最大級の水力発電所が1920年に建設され、現在に至るまで100年以上の歴史を持つ。下流は錦江湾に注ぎ、かつて河口だった場所に南蛮貿易船を係留したという大楠が今も残っている。雄川はこの地域の農業、電力、貿易に重要な役割を果たし、現在は日本を代表する風景地としても評価されている。

雄川の中流域に位置する「雄川の滝」は、太古の巨大噴火によって噴出した火砕流が台地となり、長い時間をかけて川に削られてできたという。滝が流れ落ちる幾何学模様の岩肌は「節理」と呼ばれ、火砕流が冷えて固まる過程で規則的に割れて形作られた。上流からの滝に加えて、この岩肌のあちこちから地下水が流れ出て、多数の滝となって流れ落ちる。滝壺は鮮やかなエメラルドグリーンとなる。江戸時代まではこの場所が修験者たちの修行の場所としても使われ、滝行が行われていた。火山活動と悠久の時間が作り出したその神秘的な美しさは人々を魅了し、近年映画やドラマの撮影地となったことで全国的にも一躍有名になった。

しかし、江戸時代に薩摩藩が作った「三国名勝図会」(今でいう見所ガイドのようなもの)で紹介されている雄川の滝の姿は水量が多く、岩肌や滝壺はあまり見えない。実は、現在のように岩肌や滝壺が目立つようになったのは、上流側に水力発電施設ができ、流れ落ちる滝の水量を調整したからだ、などといわれている。地域の人々が川や滝を活用してきたことが、結果的にこの自然の造形美を人々に伝えることに繋がったと言えるのかもしれない。



雄川の滝

来訪者に望まれる体験

訪問先での体験、経験を通して
訪問者に知ってほしい・感じてほしいこと

- 南蛮貿易船を係留したという大楠を見て、地域で利用され欠かせない存在だった雄川に想いを馳せてほしい → ②
- 太古の巨大噴火が作り出した幾何学状の節理の岩肌の造形美やエメラルドグリーンの美しい滝つぼから、地形の成り立ちを想像してほしい → ①

佐多地域 ストーリー ③ を実感できる、おすすめの場所・体験

「来訪者に望まれる体験」ができる場所やアクティビティ

1

雄川の滝の岩肌と滝つぼの美しさを見る



雄川の滝展望所からは岩肌と滝壺を眼前に眺めることができます。幾何学状の節理の間から水が細い滝となって流れ落ちる様子を間近で見られるほか、滝の水量が少ない晴れた日には、エメラルドグリーンの滝つぼを見ることができます。

2

南蛮船係留の大楠を見て、歴史に想いを馳せる

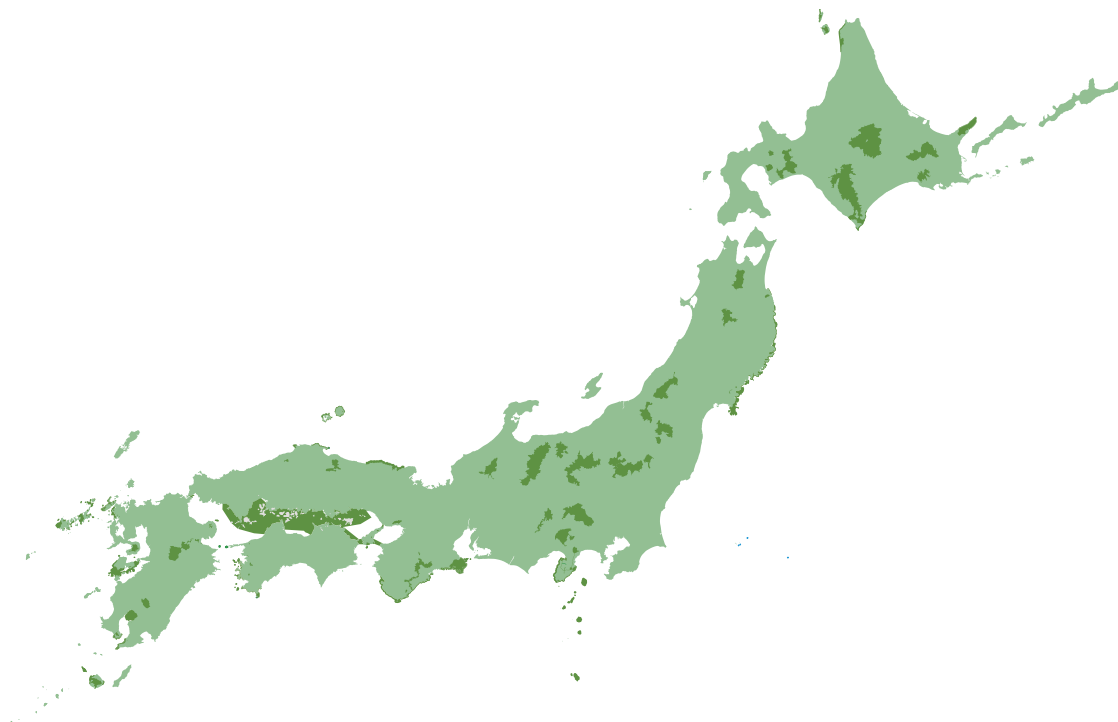


雄川の河口付近の川岸に立つ推定樹齢 1000 年以上のクスノキの大木に南蛮船を係留したといわれ、かつて南蛮貿易で栄えた雄川の様子を想像することができます。（※国立公園外）

個性豊かな 35 の国立公園

※2025 年 3 月現在

北から南まで、約 3,000 キロメートルに伸びる日本列島には、雪をかぶった山々から色とりどりの珊瑚礁まで、さまざまな自然の風景が広がっています。約 7 千種の植物、1 千種を超える動物、7～10 万種もの昆虫類などが生育・生息しています。また、豊かな水や活発な火山の恵み、手つかずの自然だけではなく、人の手が入ることによって多様な生態系と自然環境が保たれている里海、里山など、人と自然が共生する場所もあるのが日本の国立公園の特徴です。



国立公園 90 年の歴史

国立公園は、世界の多くの国で設けられていますが、世界で初めての国立公園として、アメリカのイエローストーン国立公園が 1872 年に指定されました。日本では明治 44 年（1911 年）に「日光を帝國公園となす請願」が議会で提出され、その後多くの人々の要望が高まって昭和 6 年（1931 年）に国立公園法が制定され、それに基づいて昭和 9 年（1934 年）3 月 16 日に瀬戸内海、雲仙、霧島の 3 箇所が日本初の国立公園に指定されました。

その後、昭和 32 年（1957 年）には国立公園法が全面的に改定されて自然公園法が制定され、国立公園、国定公園、都道府県立自然公園といった現在の自然公園体系が確立されました。日本の素晴らしい風景の保護と適正な利用の増進のために様々な制度や仕組みを整えながら、きめ細かな管理ができるようにして、現在に至っています。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで国立公園は 35 箇所（令和 7 年 3 月現在）になり、毎年多くの人が利用しています。

日本の国立公園制度

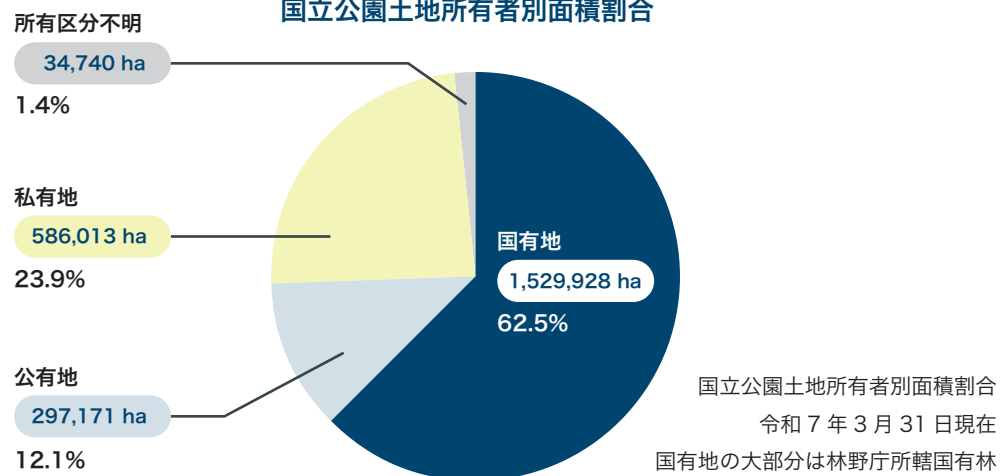
世界の多くの国の国立公園では、その先駆けである米国のように、壮大な自然を全て国有地として、ほぼ手つかずの自然を守る制度となっています。これを「営造物（えいぞうぶつ）公園」といいます。日本の国立公園の区域は土地の所有にかかわらず設定され、人が暮らす場所も少なくありません。優れた景観を守るため開発は制限されています。こうした形の制度を「地域制（ちいきせい）公園」といいます。外国人の方の多くは、日本の国立公園に人が住んでいるのを見て驚くかもしれません。しかし、人々が自然と共に作ってきた農村・漁村の暮らしは、自然と深いつながりを持っています。

また、国立公園は、自然についての知識を深め、健康やレクリエーションのために自然と触れ合う場として利用されています。

国立公園は全国に 35 個

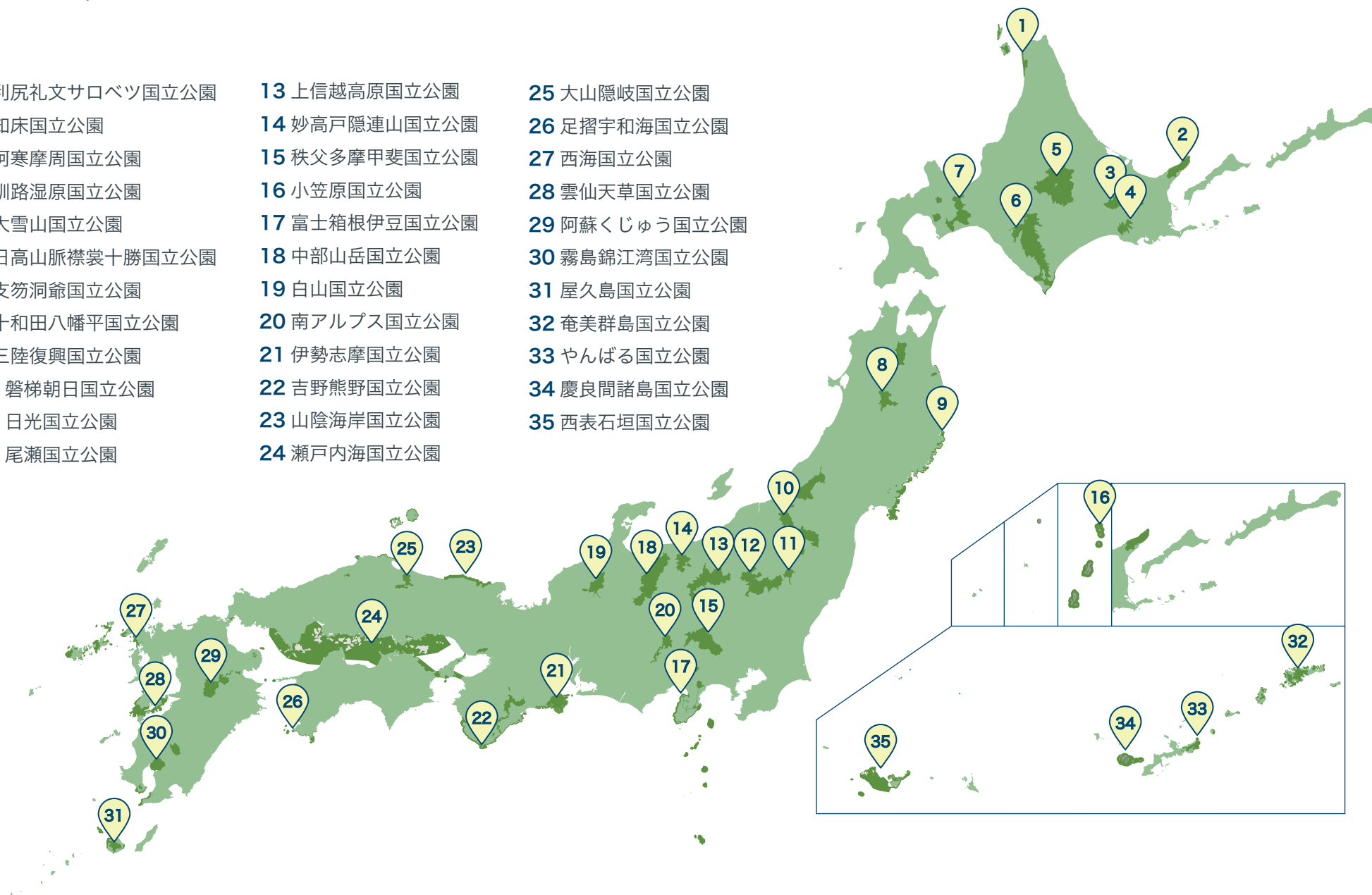
日本の国立公園は、土地の所有に関わらず指定を行う「地域制自然公園制度」を採用しており、多くの私有地も含んでいます。

国立公園土地所有者別面積割合



環境省 HP より引用 <https://www.env.go.jp/nature/nationalparks/about/>

- | | | |
|----------------|---------------|---------------|
| 1 利尻礼文サロベツ国立公園 | 13 上信越高原国立公園 | 25 大山隠岐国立公園 |
| 2 知床国立公園 | 14 妙高戸隠連山国立公園 | 26 足摺宇和海国立公園 |
| 3 阿寒摩周国立公園 | 15 秩父多摩甲斐国立公園 | 27 西海国立公園 |
| 4 釧路湿原国立公園 | 16 小笠原国立公園 | 28 雲仙天草国立公園 |
| 5 大雪山国立公園 | 17 富士箱根伊豆国立公園 | 29 阿蘇くじゅう国立公園 |
| 6 日高山脈襟裳十勝国立公園 | 18 中部山岳国立公園 | 30 霧島錦江湾国立公園 |
| 7 支笏洞爺国立公園 | 19 白山国立公園 | 31 屋久島国立公園 |
| 8 十和田八幡平国立公園 | 20 南アルプス国立公園 | 32 奄美群島国立公園 |
| 9 三陸復興国立公園 | 21 伊勢志摩国立公園 | 33 やんばる国立公園 |
| 10 磐梯朝日国立公園 | 22 吉野熊野国立公園 | 34 慶良間諸島国立公園 |
| 11 日光国立公園 | 23 山陰海岸国立公園 | 35 西表石垣国立公園 |
| 12 尾瀬国立公園 | 24 瀬戸内海国立公園 | |



国立公園のブランドプロミスの設定について

背景・趣旨

2016 年に政府がとりまとめた「明日の日本を支える観光ビジョン」の柱の一つとして国立公園が位置づけられ、「国立公園満喫プロジェクト」が進められてきた。先行 8 公園において集中的に実施してきたが、2021 年以降は、利用面での施策を強化した改正自然公園法(2022 年 4 月施行)の運用も含め、全 35 公園への水平展開を進めている。

その中で、国立公園のブランディングを強化するため、「国立公園のブランドプロミス」として、国立公園が来訪者・地域に約束することを、2023 年に国立公園のブランディング「全ての国立公園の共通の管理運営指針」として定められ、国立公園の管理運営に関わる関係者が共通の理解を持つこととされている。

合わせて、「国立公園のブランディング活動」として、「ブランドプロミスを実現し続けるため、環境省と地域・関係者が一緒に取り組むこと」が全ての国立公園で共通の項目として、国立公園の管理運営に関わる関係者が連携して取り組むものとして定められた。

ブランドメッセージ

「その自然には物語がある」

提供価値

多様な自然風景と、生活・文化・歴史が凝縮された物語を知ること、忘れられない唯一無二の感動や体験ができる。

ブランドプロミス（国立公園が来訪者・地域に約束すること）



1

感動的な自然風景
美しい自然風景



© 始良市

4

感動体験を支える
施設とサービス

2

サステナビリティへの
共感

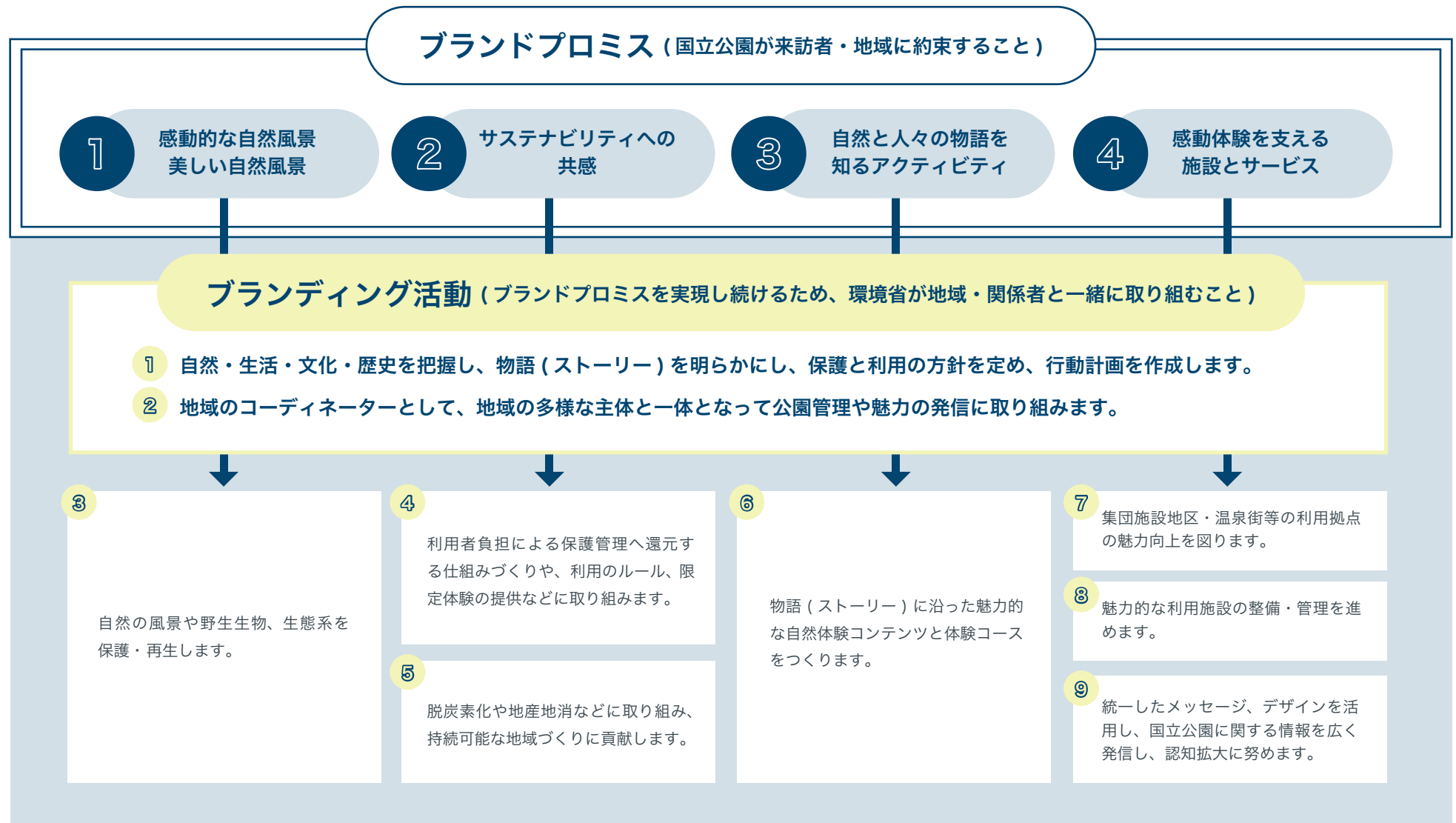


3

自然と人々の物語を
知るアクティビティ



© かごしまカヤックス



【監修者】

福島 大輔（特定非営利活動法人 桜島ミュージアム理事長）

水枝谷 清春（佐多岬コンシェルジュ）

田中 哲志（元南大隅町文化財審議委員）

大富 潤（鹿児島大学水産学部教授）

和田 直之（シナジーマーケティング株式会社）

【写真提供者】

霧島ジオパーク推進連絡協議会（撮影：永友武治）

公益社団法人 鹿児島県観光連盟 (K.P.V.B)

中村 保成

合同会社タイムテック

松元 良治（松栄丸）

ねじめ漁業協同組合

南風図書館

鹿児島市

始良市

かごしまカヤックス

【発行】

2025 年 8 月

【請負業者】

株式会社 自然教育研究センター

斯文堂株式会社

【発行者】

環境省九州地方環境事務所

霧島錦江湾国立公園管理事務所